

ごみ減量化大作戦

二酸化炭素の排出削減にも努めよう

食品ロスをなくそう

家庭から出る燃やせるごみの約半分が生ごみで、そのうち4分の1が食べ残しなど、本来食べられる「食品ロス」です。

福井県では、家庭や外食時に福井の食材をおいしく食べきり、食べ残しの減量化を進める「おいしいふくい食べきり運動」に取り組んでいます。勝山市もこの運動に取り組み、食品ロスを減らしてごみの減量化に努めています。

食品ロス減量のポイント

- ・ 買い物前には 冷蔵庫の中を確認
- ・ 量り売りやバラ売りの利用
- ・ 週1回消費期限が近い食材を使い切る「冷蔵庫一層デー」を設定



賞味期限と消費期限

賞味期限

おいしく食べられる期限。賞味期限を過ぎても、すぐに食べられなくなるわけではありません

消費期限

この期限を過ぎたら食べないほうがいいという期限

生ごみの水切り

もうあと一搾り

生ごみの約8割を占める水分を減らすことで、ごみの量もぐんと減ります。三角コーナーや排水口にたまった生ごみは水切りして、ごみ袋に入れる前には、最後にもうひと絞りするように心がけてください。

また勝山市では、「生ごみ処理機」や「生ごみ処理堆肥化容器（コンポスト）」の購入に対し、補助金を交付しています。

環境政策課(市役所2階)

☎88・8117

7月エコ協通信

10地区のエココミュニティ活動の取り組みを順番にご紹介しています。

第6回は猪野瀬地区と村岡地区です。

猪野瀬まちづくり推進協議会

当協議会は平成14年から、区長会以下12の団体が構成され、様々な活動を行ってきました。

環境整備事業

「気軽に山登りが楽しめる大師山」を目指し、登山道草刈りなどの整備を始め、階段設置、登山道入口の案内板など各種表示板や標柱の設置や、山頂に方位盤の設置、桜の植樹、雑木の伐採、大師山散策マップの作製、主な樹木や草花のネームプレートの取り付けを行ってきました。

遺跡関連事業

泰澄母の墓所(毛屋区)の整備、泰澄像を祀る太子堂(大師山)の修復工事、猪野瀬遺跡の写真パネルの作製と展示。また猪野瀬遺産めぐりコースの案内看板設置・ウォーキングマップ作製・遺跡巡りウォークも実施しました。

これ以外にも、「食」の関連事業として特産のメロンを使ったお菓子コンテストや、伝承料理教室など様々な事業を行っています。これらの活動を通じて、地元各町内の住民の交流の場、他地区から来られた皆さんとの出会いの場もなっています。今後もさらに楽しく

意義のある活動を進めたいと考えています。

まちづくり・むろこの会

山頂の城跡地の公園化をめざし、登山道の階段整備、頂上周辺の草刈り、張り巡らされた郭に雑木を活用した梯子を設置しました。村岡山の写真・絵画コンテストも実施。毎年八月十六日には「かち山ちようちん登山」を行っています。

花いっぱい推進活動

恐竜通りの敷地に黄花コスモスの種まきを行い、九月中旬から一ヶ月ほど博物館に來館される観光客に楽しんでもらっています。また、活動推進のため住民の皆さんに大輪アサガオの種まきやパンジーの種まき講習を行っています。

イベント委員会活動

浄土寺川に飛ぶホタルの鑑賞を勧めています。クリスマスが近づくと、村岡公民館前に大きなイルミネーションを取り付け、ご覧になった皆さんに明るい気持ちになってもらえるよう、毎年午後10時まで点灯しています。

村岡町文化祭

まちづくり・むろこの会が中心になり、「みんなであつなご村岡の和」をテーマに、公民館、小学校、幼稚園を会場に様々な皆さんによる舞台発表、展示などで町民の皆さんに楽しんでいただいています。

勝山市エココミュニティ協議会

事務局 ☎87・1011

勝山市フォトコンテスト 作品募集締切間近

全10部門へのご応募お待ちしております。

応募締切▼7月31日(木)

当日消印有効

募集部門▼勝山の春、夏、秋、冬、恐竜、白山・平泉寺、勝山城博物館、スキージャム勝山、越前大仏、えちぜん鉄道

※応募作品数は1部門につき

1人3点まで(最大で1人30点応募できます)

賞▼グランプリ(1点、入選)

(30点、特別賞、部門賞)



H20白山・平泉寺部門 特選「照らされた道」

観光政策課

(市役所2階) ☎88・8117

マレットゴルフ大会 参加者募集

第2回勝山市長杯争奪マレットゴルフ大会の参加者を募集します。どなたでも気軽にお申し込みください。

とき▼7月19日(日) 午前8時30分

※雨天時7月20日(日)に順延

ところ▼弁天緑地公園

マレットゴルフ場

内容▼個人戦 36ホール

ストロークプレー

申込締切▼7月16日(木)

生涯学習・スポーツ課

☎88・8114

健康チャレンジ

5ポイント対象事業

早朝ウォーキング

とき▼7月21日(月・祝)

27日(日) 午前7時~8時

ところ▼ゆめおれ勝山広場

※21日は10ポイント

ウォーキング講座

とき▼8月10日(日)

午前8時~9時

健康長寿課(すこやか内)

☎87・0888

ありがとうございました

東京奥越経済同友会より

寄付

児童図書購入費として10万円。「山口茜選手を育てる会」と「勝山のアスリートを育てる会」にそれぞれ15万円を寄付いただきました。



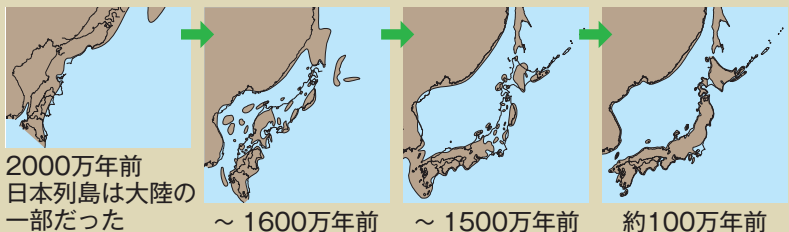
浄土真宗本願寺派

龍川組より寄付

同会に属する21ヶ寺より、福祉目的に使ってほしいと託鉢で集められた中から5万円を寄付いただきました。



恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク



2000万年前 日本列島は大陸の一部だった

~1600万年前

~1500万年前

約100万年前

勝山市は、国内でも有数の恐竜化石産地です。古くから、白亜紀のトリゴニオイデス(二枚貝)が含まれる地層として知られていた北谷町杉山の露頭(崖)では、平成元年からスタートした福井県の恐竜化石発掘調査により、フクイサウルス、フクイラプトル、フクイティタンといった新種の恐竜化石などが発見されています。

なぜ勝山市で多くの恐竜化石が発見されているの?

恐竜は広い大陸に生息していた生き物です。恐竜時代の勝山市は、中国大陸の東端に位置していました。そこに暮らす恐竜たちは、やがて息絶え大河や沼、湖の底などで土砂に埋まり、地中に封じ込まれて長い時間を経て化石になります。恐竜の化石が眠る大

第2回 恐竜化石産地・勝山



恐竜化石が眠る縞々の地層

地は、地球のプレート運動により中国大陸から徐々に引き離され、日本海、そして、現在の日本列島が形成されていきます。勝山市で発見される恐竜化石は、その変動する大地とともに大陸から勝山にやって来たのです。

恐竜化石が眠る地層は、今から約1億2000万年前の白亜紀前期のもので、そこから発掘された恐竜の化石や足跡化石などから進化の過程や恐竜の行動パターンなどが明らかになってきています。そのほか恐竜化石だけでなく、淡水生物、哺乳類などの化石も一緒に発見されています。それらについても、恐竜時代の勝山市の古環境を解明する手がかりとなるものであり、恐竜化石と同様にとても貴重なものと言えます。

観光政策課(市役所2階) ☎88・8117

